



## 産業廃棄物処理業ヒヤリハット 企業における具体的取組事例

高和興業株式会社

安全衛生情報では会員各社へ伺い、社内における安全衛生の具体的な取組事例をご紹介します。

今回ご協力いただきました会員企業は、高和興業株式会社です。高和興業（株）では安全衛生委員会（5名）が「No Accident ～皆がよりよく働ける職場へ～」を提唱し、本社工場、木場工場、鋳物砂リサイクル工場、豊川営業所、長野営業所、九州駐在所において安全作業を実践しています。

会社の取組について、高和興業（株）営業部課長 佐藤智和氏、総務部 平石雅人氏からお話を伺いました。

### ◆減らない事故・怪我について分析

1か月に1回事故が発生、同じ人が繰り返す、事故を起こしてもその場限りで具体的な再発防止策が取られていないことが判明。

### ◆事故を減らすためには…

その場限りで終わらせず具体的な対策を取る、事故発生抑制のための対応策を検討（ヒヤリハットの抽出）、事故情報の共有、無事故無違反者の評価を定めた。

### ◆精神論では事故は無くならない！

事故報告書に対応策を記載し提出することで、事故という出来事が終わりとなってしまい、具体的な対応策がなされていない。書類提出で精神的な安堵を得てしまう。

改善⇒事故を減少させる環境を作り、取引先-従業員-企業のメリットを増やし、WIN-WIN-WIN環境を目指すことを目的とした。更にこれまでの



安全衛生の取組について説明される平石氏

事故、ヒヤリハットの見直し、作業ごとのリスクアセスメントの実施、具体的な対応策の検討を行い、事故の抑制につなげることをコンセプトとした。

### ◆具体的対策

▷緑十字を作る：事務所内に『緑十字』『事故発生一覧表』の提示。

⇒全社員が事故に対し興味を持つようになり、事故を起こした者の気を引き締める。

▷社内報の発行：2か月に1回、季節ごとの健康、体調管理に関する内容を掲載。

⇒健康管理への意識啓発。

▷救命救急講習会（AED）：講師に消防職員の方を招き、応急手当、人工呼吸、AEDの使い方を受講。

⇒緊急時の対応に期待。

▷安全標語朗読！！：毎朝朝礼時に現場作業員全員で安全標語の朗読。

⇒読むことで気が引き締まり、声に出すことで再認識。

- ①段取りと基本動作で安全作業
- ②ちょっとした手抜きがまねく一大事
- ③ヒヤリハットの経験を次に活かそう危険予知
- ④職場の安全みんなで考えみんなで実行
- ⑤活かせる教訓見直し動作基本に忠実安全作業

▷事故発生時の情報共有と再発防止策：事故が起きた場合、臨時でドライバー会議、現場会議、安全衛生会議を開催し、意見交換、対応策を検討、結果は管理者が記録。

⇒事故を起こした本人のみならず、多数で検討を行うため、多角的な視野からの分析が可能。

▷熱中症対策：扇風機の付いた「空調服」を試験的に2工場を着用。

⇒服について小型ファンで服の中に外気を取り入れ、工場や屋外作業などエアコンの使用できない環境での作業時に使用します。



扇風機の付いた「空調服」

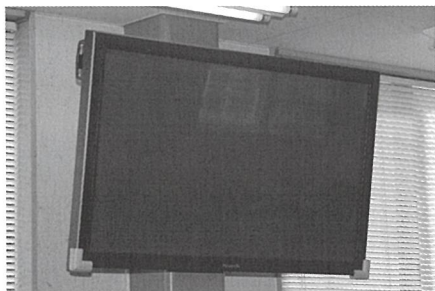
▷ドライブレコーダー：運搬車両に設置し、事務所内のモニターで管理。

⇒事故が減少。

#### ◆対策した結果

▷対策後：社内の安全衛生への対策が以前と比較し向上。

▷今後：今まで取り組んでいない対策の検討、目標は事故ゼロ！



事務所に設置したトラックの位置情報モニター



ドライブレコーダー搭載の新型車両とドライバーさん



OHSAS 18001:2007、ISOの認証書

## 労働災害ゼロがわが社の誇りです！



力強く高和興業の安全衛生を語られる佐藤課長

#### ◆安全への願い

金属廃棄物を回収した収集車両は計量後、受入のため工場内の天井に設置された4.8tのマグネットクレーンやバックホーで選別されます。受入と同時に成分分析器にて検査を行い、スクラップ内への放射線物質の混入を防ぐために、放射能探知機が設置され安全安心を確保します。その後、マウントシャー切断、プレス加工、ガス・プラズマ切断にて製品へと加工されます。高和興業の扱う金属量の多さと品質へのこだわりが伝わる工場見学でしたが、その規模ゆえ安全作業への取組が求められ、全社一丸の努力により今の結果を生み出していると、佐藤課長は自信をもって話されました。